

第 16 表 児童福祉法による児童福祉施設

本表は昭和32年3月末日現在で「厚生省報告例」にもとづいて作成されたものである。

施設	施設数	職 員 数				収容または 利用定員
		計	事務職員	技術職員	その他	
総 数	378	2 631	751	1 446	434 (599世帯)	23 377
助産施設	9	128	30	79	19	75
乳児院	6	149	26	74	49	220
母子寮	25	110	29	62	19	599世帯
保育所	276	1 446	453	772	221	18 908
児童厚生施設	15
養護施設	40	628	187	336	105	3 434
精神薄弱児施設	5	64	13	48	3	290
虚弱児施設	-	-	-	-	-	-
し体不自由児施設	1	59	6	42	11	100
盲児施設	-	-	-	-	-	-
ろうあ児施設	-	-	-	-	-	-
教護院	1	47	7	33	7	350

(注) 資料 大阪府民生部児童課及び大阪市民生局児童課。

第 17 表 児童福祉施設収容実人員数

本表は「厚生省報告例」にもとづいて作成された各年度における1カ月平均の数字である。但し、昭和31年度は昭和32年3月末日現在のものである。

年 次	乳 児 院	養 護 施 設	精神薄弱児施設	教 護 院	し体不自由児施設
昭和28年度平均	163	3 066	263	269	48
29	167	3 062	281	190	47
30	180	3 254	295	207	83
31	136	2 206	127	87	32

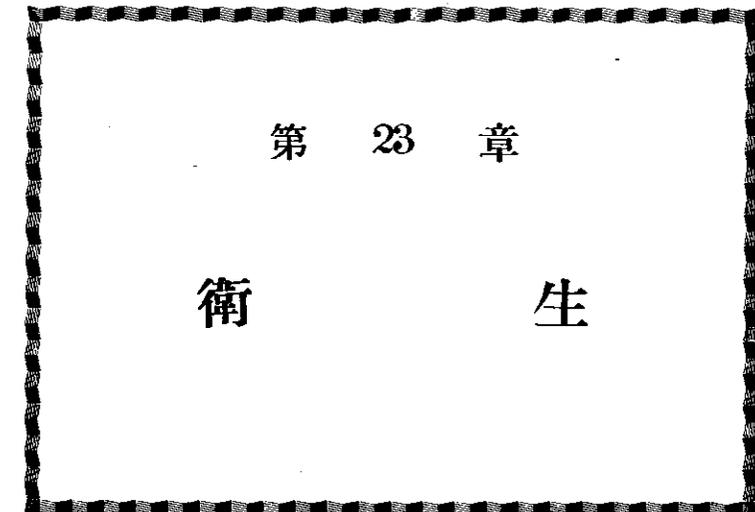
(注) 資料 大阪府民生部児童課及び大阪市民生局児童課。

第 18 表 結 婚 斡 旋 状 況

本表は「厚生省報告例」にもとづいて作成されたものである。

年 次	相 談 件 数			申 込 件 数			照会組数 (見合)	成立組数
	総 数	男	女	総 数	男	女		
昭和28年度	13 707	6 352	7 355	1 855	834	1 021	1 510	318
29	16 067	7 265	8 802	2 280	929	1 351	1 326	187
30	16 119	7 073	9 046	2 298	851	1 447	1 464	170
31	16 828	7 151	9 677	1 965	842	1 123	1 386	117

(注) 資料 大阪府立夕陽丘結婚相談所。



第 23 章 衛 生

(1) 医 療 施 設

A 病 院 数

医療法施行規則に基づき提出された報告の結果によると、医療法制定の23年以後病院数は年々増加傾向にあって、昭和31年末における病院総数は308である。その内訳を経営主体別にみると、医療法人をふくむ法人立が115(37.3%)で、個人は106(34.4%)、官公立72(26.6%)、会社所属15(4.8%)の割合となっている。また、病院の種類別でみると、その他の病院は259で総数308の84.0%を占め第1位にあり、次いで結核病院の24(7.8%)、伝染病院13(4.2%)、精神病院12(4.0%)の順となる。次ぎに経営主体別の増減状況を昭和26年末現在と比較すると官公立では21施設(41.1%)法人立では65施設(130.0%)の増加となってをり一般診療所、歯科診療所も716施設(25.1%)324施設(23.8%)の増加となっている。

第8表の保健婦、第9表の看護婦及び看護人及び第10表の助産婦が前年度より減少しているがこれは国家登録によって本府の身分を喪失した者を差引いたためである。

B 病 床 数

昭和31年末における病院の総病床数は35,474床であるがこの病床数を種類別でみると、精神病床3,182床(9.0%)、結核病院(療養所)7,498床(21.1%)、伝染病院1,041床(3.0%)、その他の病院(一般病院)23,753床(67.0%)の割合となっている。病床数の増減状況を昭和26年と比較すると、総病床数では14,546床(70.0%)、精神病床1,336床(72.3%)、結核病床は2,547床(51.4%)、その他の病床10,676床(81.6%)の増加となっているが、伝染病床は13床(1.2%)の減少となり、伝染病床を除いた各病床は年々著しい増加の傾向を示している。31年末における病床数を経営主体別にみると、官公立14,915床(42.0%)、法人立14,896床(42.0%)、個人立4,486床(12.6%)、会社所属1,177床(3.3%)となり、また病床の種類別でみると、その他の病床23,753床で総数35,474の67.0%を占め第1位にあり次いで結核病床7,498床(21.1%)、精神病床3,182床(8.9%)、伝染病床1,041床(3.0%)の順となる。

(2) 死 亡 の 概 況

人々の記憶に生々しい戦争は現代の大量殺人として我が国の死亡率を異常なまでに上昇させたが終戦を境としてその死亡率も急激に低下し、毎年10月1日人口推計によると25年から26年は人口1,000人について9.2人の死亡であったのがその後なをも低下の傾向は続いて、30年～31年にかけては1,000人について6.3人の死亡というところまでたっした。かくて死亡率は今や世界最低水準をゆくとさえ言われ、戦後における公衆衛生思想の急速な普及発達を物語っている。

死亡者数を年齢階級別にみると、やはり60才以上が16,585人(49.7%)でもっとも多く、次いで50～59才の4,904人(14.3%)、0～9才4,022人(12.0%)、40～49才2,919人(8.7%)、20～29才2,205人(6.6%)、30～39才1,874人(5.6%)、10～19才878人(2.6%)となっている。また死因別を多いものよりみると、1. 中枢神経系の血管損傷4,838人(14.4%)、2. 悪性新生物4,480人(13.4%)、3. 精神病の記載のない老衰並びに診断名不相当及び不明の原因4,246人(12.7%)、4. 呼吸器系の結核2,692人(8.0%)、5. その他のすべての疾患2,579人(7.7%)、6. 動脈硬化性及び変性及び変性心臓疾患1,870人(5.6%)、7. 肺炎(新性児肺炎を除く)1,297人(3.8%)、8. 自殺及び自傷1,193人(3.5%)、9. その他の不慮の事故1,153人(3.4%)、10. 胃炎12指腸炎及び大腸炎1,110人(3.3%)、11. 腎炎及びネフローゼ980人(2.9%)その他の新生児固有の疾患及び性質不明の未熟児970人(2.9%)、12. その他

の心臓疾患680人(2.0%)、13. 胃及び12指腸の潰瘍665人(1.9%)、14. 肝硬変546人(1.6%)、15. 自動車事故478人(1.4%)、16. 心臓の記載のない高血圧症449人(1.3%)となっている。

以上を昨年と比較してみると結核等細菌感染による疾患は公衆衛生の進歩によりまた新医薬品の創造とこれの普及により死亡率は低下若しくは平行状態をとったが老人性疾患は特別の治療法が発見されなため死亡率は依然として上昇の傾向をたどり、また外因死については、自殺自傷は減少しているが自動車事故による死亡は反対に増加している。

(3) 伝 染 病

昭和31年の法定伝染病患者発生数は4,116名で、前年の3,685名に比し431名の増加となっているがこの増加の原因についてはジフテリア、日本脳炎、しよ紅熱等の流行によるものである。

つぎに死者について見ると昭和31年は273名で前年の309名に比し36名の減少となってをり赤痢(疫痢)と共に法定伝染病中死亡の多い日本脳炎の流行があって患者数が増加したにもかかわらず、このように死者数が減少していることは医学の進歩をものがたるもので誠に喜ばしい現象である。

以下各疾病別の発生状況及びその対策についてみると、赤痢は昭和27年の流行期を頂点として、その後漸減の傾向を示しているが、本年の発生件数は2,253名に達し、依然として全法定伝染病の60%近くを占めており、今後の諸対策が強く要望される。又赤痢の発生状況を病種別に分類すると、細菌性赤痢1,769名、同疑似634名、疫痢447名、同疑似29名、アメーバ赤痢3名、保菌者1,364名となっており、特に保菌者の増加が注目される。これは本年7月から9月にかけて堺市の大阪刑務所において患者数394名(中保菌者345名)に達する集団発生をみたことに起因する。なお昭和31年の全国赤痢罹患率を見ると大阪府は人口10万人につき48.0人で全国第40位(罹患率の高い府県から算え)という良い成績であった。

つぎにジフテリアの発生数は974名で戦前の大流行時に比較すれば20%程度に減少しているが、予防接種法施行後10年を経過しその成績も年々向上しているのにもかかわらず、ここ2、3年来はふたたび増加傾向を示している。

日本脳炎は西日本だけでなく、全国的に流行し大阪でも昭和25年の大流行に次ぐ戦後2番目に大きい流行で患者は159名、死者は41名を数え、新しい抗生物質の使用にも拘らず致命率は依然として高く30%に達している。

しよ紅熱の患者数は558名で死者は10名である。本病は昭和27、28年ごろから東京、神奈川などの関東地方に「まんえん」しはじめたが、その後漸次西日本方面にも波及し、大阪でも昭和29年ごろから多発の傾向を示しはじめ本年も昨年の20%増となった。

その他の伝染病、腸チフス、パラチフスは減少傾向も大体底をついたものかその発生数は昨年と大差なく、流行性脳脊髄膜炎についても同様である。

また発しんチフス、痘そう、コレラ等のいわゆる検疫伝染病については本年もまた発生皆無であったが、これは国内防疫態勢が著しく強化されたことによるものである。

(4) 届出伝染病の発生概要

届出伝染病は全般的にみて年々減少の傾向にあり、昭和31年の発生で昨年より増加をみたものは百日せきだけである。しかしこれも昭和27年の1,652名、昭和28年の1,583名、昭和29年の2,050名に比較すれば問題にならないほどの件数である。

なお届出伝染病の主体をなすものは、患者、死者共に「ましん」であり、この点法定伝染病の赤痢と共に伝染病の双へきであるといえる。

第1表 理容及び美容

本表は「厚生省報告例」に基づいて作成されたもので各年末現在の数字である。

年次	理容 美容			
	理容所	理容師数	美容所	美容師数
昭和28年	4 074	11 635	2 792	10 294
29	4 288	12 249	2 962	7 674
30	4 541	11 780	3 252	10 412
31	4 704	8 995	3 523	6 370

(注) 資料 大阪府衛生部監理課。

第2表 公衆浴場

本表は「厚生省報告例」に基づいて作成されたもので各年末現在の数字である。

年次	総数	公営浴場		私営浴場
		数	場	
昭和28年	1 452		32	1 420
29	1 526		32	1 494
30	1 642		32	1 610
31	1 748		32	1 716

(注) 資料 大阪府衛生部監理課。

第3表 ホテル、旅館、下宿

本表は「厚生省報告例」に基づいて作成されたもので各年末現在の数字である。

年次	総数	ホテル、旅館、下宿		
		ホテル	旅館	下宿
昭和28年	2 759	4	2 527	228
29	3 045	4	2 777	264
30	3 078	4	2 773	301
31	2 901	3	2 571	327

(注) 資料 大阪府衛生部監理課。

第4表 牛乳搾取及び処理

本表は「厚生省報告例」に基づいて作成されたもので各年末現在の数字である。但し搾取量及び処理量は各年間のものである。

年次	牛乳搾取場数	乳牛頭数	年間牛乳搾取量		
			年間牛乳搾取量	牛乳処理場数	年間牛乳処理量
昭和28年	1 556	5 978	1 378 582	58	1 998 137
29	1 809	6 462	1 669 712	57	2 463 223
30	...	7 680	1 667 398	62	2 588 398
31	1 653	8 847	1 884 523	62	3 193 351

(注) 資料 大阪府公衆衛生課。

第5表 医師及び歯科医師

本表は医師法及び歯科医師法による届出票を集計したもので各年末現在の数字である。

年次	医師				歯科医師			
	総数	医療施設の従事者	衛生行政または保健衛生の業務の従事者	その他	総数	歯科医療施設の従事者	衛生行政または保健衛生の業務の従事者	その他
昭和28年	5 312	5 001	231	80	1 770	1 714	32	24
29	6 448	5 994	348	106	1 986	1 881	58	47
30	6 737	6 294	119	324	2 069	1 984	11	74
31	6 061	1 965

(注) 資料 大阪府衛生部監理課。

第6表 薬剤師

本表は薬剤師法による届出票を集計したもので各年末現在の数字である。

年次	総数	薬剤師の実務に従事する薬剤師数				衛生行政に従事する薬剤師数	薬学の研究に従事する薬剤師数	その他
		薬局の開業者	薬局に勤務するもの	病院診療所勤務	医薬品の製造輸入販売に従事するもの			
昭和28年	5 594	1 665	339	464	1 576	180	74	1 296
29	6 370	1 313	647	659	1 987	241	65	1 458
30	6 466	1 362	689	719	1 977	248	91	1 380
31	6 178

(注) 資料 大阪府衛生部監理課。

第7表 薬局

本表は薬局法による届出票を集計したもので各年末現在の数字である。

年次	総数	薬剤師が開設するもの			無薬局町村数
		薬剤師が開設するもの	非薬剤師が開設するもの	無薬局町村数	
昭和28年	1 731	1 106	625	59	
29	1 727	1 304	423	55	
30	1 927	1 577	350	34	
31	2 065	1 572	493	10	

(注) 資料 大阪府衛生部監理課。

第8表 保健婦

本表は保健婦法による届出票を集計したもので各年末現在の数字である。

年次	総数	養成所卒業のもの		
		養成所卒業のもの	試験合格のもの	その他
昭和28年	1 772	837	506	429
29	1 784	840	515	429
30	1 792	846	517	429
31	1 485	769	487	229

(注) 資料 大阪府衛生部監理課。

第9表 看護婦及び看護人

本表は看護婦法及び看護人法による届出票を集計したもので各年末現在の数字である。

Table with columns for year, total number, and breakdown by category (old/new system, exam status, etc.) for nursing women and staff.

(注) 資料 大阪府衛生部医務課。

第10表 助産婦

本表は助産婦法による届出票を集計したもので各年末現在の数字である。

Table showing the number of midwives by year and their qualification status (exam passed, foreign school graduate, etc.).

(注) 資料 大阪府衛生部監理課。

第11表 あんま、はり、きゆう師及び柔道整復師

本表はあんま、はり、きゆう師法及び柔道整復師法による届出票を集計したもので各年末現在の数字である。

Table detailing the number of acupuncturists, masseurs, and other practitioners by year and gender.

(注) 資料 大阪府衛生部監理課。

第12表 栄養士及び調理士

本表は栄養士法及び調理士法による届出票を集計したもので各年末現在の数字である。

Table showing the number of nutritionists and chefs by year, categorized by their qualification status.

(注) 資料 大阪府衛生部公衆衛生課。

第13表 病院及び診療所

本表は医療法施行規則第13条に規定する手続きによって提出された報告に基づいて作成されたもので昭和31年にかんする数字である。

Large table showing hospital and clinic statistics including bed counts, patient numbers, and facility types (general, infectious disease, etc.).

(注) 資料 大阪府衛生部監理課。

第14表 性病病院診療所

本表は医師法施行規則13条に規定する手続きによって提出された報告に基づいて作成されたもので、昭和31年末現在の数字である。

Table showing the number of venereal disease hospitals and clinics by administrative level (prefecture, city, town, village).

(注) 資料 大阪府衛生部監理課。

第15表 性病患者数

本表の患者数は「伝染病簡速統計」によったものである。伝染病簡速統計とは伝染病予防法及び伝染病届出規則に基づく医師の届出により作成されたもので各年末現在の数字である。

Table showing the number of venereal disease patients by year and gender, categorized by disease type (syphilis, gonorrhea, etc.).

(注) 資料 大阪府衛生部監理課。

第16表

法定伝染病患者数及

本表は「伝染病簡速統計」によつたものである。比率は人口10万当りを示し、比率算

Table with columns for year (昭和21-31), disease type (大腸菌, 赤痢), and rates (患者数, 率). Includes a sub-table for 赤痢 (疫痢を含む).

Table with columns for year (昭和21-31), disease type (痘, そ, う, 発しんチフス, しよ, う, 紅熱), and rates (患者数, 率).

(注) 資料 大阪府衛生部監理課。

第17表

法定伝染病死亡者数

本表は「人口動態調査」によつたものである。比率は人口10万当りを示し、比率算

Table with columns for year (昭和21-31), disease type (大腸菌, 赤痢), and death rates (死亡数, 率). Includes a sub-table for 赤痢 (疫痢を含む).

Table with columns for year (昭和21-31), disease type (痘, そ, う, 発しんチフス, しよ, う, 紅熱), and death rates (死亡数, 率).

(注) 資料 大阪府衛生部監理課。

及び患者率の年次推移

定に用いられた人口は各年次10月1日現在の国勢調査または推計人口によつてゐる。

Table showing trends for 腸チフス, パラチフス, and ベスト (大腸菌, 赤痢, 全). Includes a sub-table for 流行性脳脊髄膜炎.

Table showing trends for ジフテリア, 流行性脳脊髄膜炎, and 日本脳炎 (大腸菌, 赤痢, 全).

及び死亡率の年次推移

定に用いられた人口は各年次10月1日現在の国勢調査または推計人口によつてゐる。

Table showing trends for 腸チフス, パラチフス, and ベスト (死亡数, 率). Includes a sub-table for 流行性脳脊髄膜炎.

Table showing trends for ジフテリア, 流行性脳脊髄膜炎, and 日本脳炎 (死亡数, 率).

第 18 表

法定伝染病月別患

本表の患者数は「伝染病簡速統計」により、死亡者数は「人口動態調査」によるものである。日本脳炎は昭和21年7月より法定伝染病となった。本表の患者数は真性のみ、死亡者数は

年	月	総 数		赤 痢				疫 痢	
				アメーバ		細菌性			
		患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者
昭和	28 年	2 987	320	24	2	1 361	49	653	199
	29	3 433	293	37	-	1 707	52	680	199
	30	3 684	310	43	2	1 678	62	466	164
	31	5 244	242	35	-	2 906	33	488	115
	1 月	208	12	3	-	76	3	5	2
	2	215	12	3	-	112	1	16	5
	3	246	14	3	-	108	1	20	7
	4	265	7	5	-	129	3	17	3
	5	296	18	8	-	129	1	37	13
	6	331	16	2	-	160	1	44	12
	7	577	22	2	-	365	3	87	19
	8	981	57	2	-	673	3	95	25
9	962	44	3	-	629	9	108	17	
10	680	25	3	-	404	7	50	10	
11	296	8	1	-	75	1	7	1	
12	187	7	-	-	46	-	2	1	

(注) 資料 大阪府衛生部監理課。

第 19 表

届出伝染病、食中毒月別

本表の患者数は「伝染病簡速統計」により死亡者数は「人口動態調査」によるものである。届出伝染病届出規則に基づいている。

年	月	総 数		マラリア		ましん		百日せき		インフルエンザ		急性灰白髄炎	
		患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者
昭和	29 年	60 948	3 624	29	2	1 322	45	2 050	51	18	-	365	24
	30	69 211	3 463	2	1	3 708	147	160	6	1 638	16	190	38
	31	49 486	2 651	3	2	577	30	477	4	513	3	143	12
	1 月	2 985	282	-	-	5	-	6	-	-	1	-	2
	2	3 428	283	1	-	30	1	7	-	1	-	6	2
	3	3 420	240	-	-	27	-	9	1	-	-	3	-
	4	3 746	258	1	1	44	1	8	-	-	-	15	2
	5	4 300	233	-	-	108	1	17	-	-	-	10	1
	6	5 768	210	-	-	164	8	38	1	-	-	21	-
	7	6 457	248	1	1	120	9	101	1	-	-	49	-
	8	5 320	245	-	-	51	10	133	1	-	-	19	4
	9	5 317	188	-	-	5	-	101	-	-	-	12	-
10	5 274	242	-	-	11	-	39	-	-	-	6	1	
11	1 633	132	-	-	2	-	9	-	1	1	1	-	
12	1 838	90	-	-	10	-	9	-	511	1	1	-	

(注) 資料 大阪府衛生部監理課。

者数及び死亡者数

口動態調査」によるものである。日本脳炎は昭和21年7月より法定伝染病となった。本表の患者数は真性のみ、死亡者数は

腸チフス		パラチフス		しろう紅熱		ジフテリア		流行性 脳脊髄膜炎		日本脳炎	
患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者
129	11	31	2	196	-	529	31	39	7	25	19
122	4	19	2	322	2	478	20	52	9	16	5
140	9	12	3	463	2	805	45	36	9	41	14
113	1	16	-	503	3	827	36	45	5	311	49
4	-	2	-	41	-	76	6	1	1	-	-
-	1	-	-	35	-	46	4	3	1	-	-
8	-	-	-	34	-	70	6	3	-	-	-
5	-	2	-	36	-	70	1	1	-	-	-
12	-	1	-	47	1	59	3	3	-	-	-
17	-	2	-	46	-	55	2	2	-	3	1
11	-	6	-	44	-	57	-	4	-	1	-
22	-	3	-	27	-	25	-	16	-	118	29
16	-	-	-	19	-	63	-	6	2	118	16
14	-	-	-	43	2	147	2	3	1	16	3
4	-	-	-	97	-	99	6	-	-	13	-
-	-	-	-	34	-	60	6	3	-	42	-

患者数及び死亡者数

口動態調査」によるものである。届出伝染病届出規則に基づいている。

破傷風		らい		トラホーム		呼吸器系の結核		その他の結核		食中毒	
患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者
34	18	30	-	4 356	-	50 282	3 070	1 453	399	1 009	15
22	20	43	-	5 030	-	54 440	2 888	1 808	338	2 170	9
26	17	40	-	2 891	-	41 229	2 352	1 685	222	1 902	9
1	1	4	-	160	-	2 666	247	123	25	20	6
2	2	3	-	246	-	2 985	250	135	26	12	2
1	1	7	-	268	-	2 960	209	130	29	15	-
1	-	-	-	235	-	3 306	238	134	16	2	-
2	1	7	-	170	-	3 794	215	181	15	11	-
3	2	3	-	441	-	4 826	181	194	18	78	-
4	3	1	-	330	-	5 047	213	178	21	626	-
2	2	8	-	493	-	4 312	198	172	29	130	1
3	3	4	-	250	-	4 303	167	159	18	480	-
5	1	1	-	249	-	4 261	217	178	23	524	-
1	-	-	-	23	-	1 541	130	54	1	1	-
1	1	2	-	26	-	1 228	87	47	1	3	-

第 20 表

月 別 主 要 死 因

本表は「人口動態調査」によるものである。

死 因	昭和 31 年 数	1 月	2 月	3 月	4 月
総 数	33 387	3 174	3 074	2 992	2 506
呼吸器系の結核	2 692	232	239	249	223
その他	327	34	40	38	11
梅毒及びチフス	190	26	22	16	17
赤痢	3	-	1	-	-
赤痢	159	3	6	8	6
しょうじょう	5	1	-	-	1
紅熱及び連鎖球菌性口炎	42	7	3	5	2
百日咳	11	-	-	1	-
髄膜炎	10	1	1	-	-
急性灰白髄炎	14	1	-	1	1
麻疹	46	1	2	1	3
伝染性及び寄生性として分類されたその他の疾患	2	-	-	1	-
悪性新生物	191	13	13	11	12
良性及び性質不詳の新生物	4 480	368	346	353	341
悪性新生物	301	26	25	29	13
糖尿病	125	15	15	7	9
貧血症	59	2	2	7	5
中枢神経系の血管損傷	4 838	434	461	428	411
髄膜炎	100	8	7	8	4
リウマチ熱	32	7	4	2	3
慢性リウマチ性心臓疾患	109	15	14	8	5
動脈硬化性及び変性心臓疾患	1 879	202	187	180	164
その他の心臓疾患	680	89	72	57	59
心臓疾患に伴う高血圧症	84	7	7	7	5
心臓の記載のない高血圧症	449	46	48	53	22
インフルエンザ	44	2	-	2	2
肺炎(新生児肺炎を除く)	1 297	178	169	133	75
気管支炎	274	30	28	43	22
胃及び十二指腸の潰瘍	665	74	71	69	48
虫垂炎	62	5	4	3	7
腸閉塞及びヘルニア	210	16	21	17	18
胃炎	1 110	98	80	82	69
肝炎	546	51	48	43	38
腎炎及びネフローゼ	980	114	86	86	69
前立腺肥大症	9	1	-	-	-
妊娠分娩及び産褥の合併症	138	17	9	11	7
先天性奇形	185	20	13	5	18
出生時の損傷分娩後窒息	109	6	13	9	8
新生児の感染症	215	40	25	29	15
その他の新生児固有の疾患	970	118	117	89	80
精神病の記載のない老衰並びに診断名不相当及び不明の原因	4 246	405	395	394	315
その他のすべての疾患	2 579	226	252	247	176
自動車事故	478	40	47	37	32
その他の不慮の事故	1 153	90	80	93	81
自殺及び自傷	1 193	94	98	119	101
他殺及び戦争行為	96	11	3	11	8

(注) 資料 大阪府衛生部監理課。

別 死 亡 者 数

る。死因は国際死因分類に基づいている。

5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
2 418	2 237	2 501	2 547	2 409	2 694	2 753	4 082
218	201	217	196	179	213	235	290
17	32	25	27	24	30	19	30
9	10	11	16	11	16	18	18
-	1	-	-	-	1	-	-
18	11	23	29	30	13	6	6
-	-	-	-	1	1	1	-
2	1	-	-	2	2	6	12
1	-	-	2	2	1	3	1
1	1	-	1	2	1	-	3
1	-	2	3	-	3	1	1
10	13	9	4	-	-	1	2
-	-	1	-	-	-	-	-
12	8	18	44	21	19	6	14
339	380	358	360	405	406	408	416
25	21	28	24	25	34	18	33
8	4	9	11	9	8	11	19
6	3	2	4	8	8	7	5
410	309	337	343	311	398	427	569
10	6	16	4	10	9	8	10
1	-	3	3	1	2	2	4
10	8	8	7	6	7	8	13
134	119	123	108	133	131	146	252
50	36	36	33	39	39	50	120
9	5	5	4	3	13	7	12
29	27	27	31	27	43	44	52
-	-	-	-	-	1	-	37
70	56	67	65	54	62	86	282
15	8	11	14	14	14	17	58
53	46	38	40	39	42	75	70
3	3	6	7	5	6	6	7
16	15	19	18	12	18	21	19
77	56	121	121	99	110	83	114
51	47	47	36	45	52	44	44
61	69	68	84	50	72	93	128
-	2	1	1	2	1	1	-
12	11	8	14	15	10	8	16
9	12	12	12	17	13	23	31
8	5	8	12	9	9	11	11
10	6	6	3	10	16	21	34
65	63	64	66	59	72	72	105
261	263	316	331	290	334	343	599
155	175	177	202	196	211	187	375
30	27	31	31	44	45	53	61
85	74	121	117	88	103	97	124
117	97	107	110	93	93	72	78
1	6	13	12	4	12	8	7

第 21 表 年 令 別、月 別 死 亡 者 数

本表は「人口動態調査」によるものである。昭和28年は人口動態統計年報の確定数で昭和29、30、31年は概数である。

年 月	総 数	0~4才	5~9才	10~14才	15~19才	20~24才	25~29才	30~34才	35~39才	40~44才	45~49才	50~54才	55~59才	60才以上	年令不詳
昭和28年	31 842	5 199	611	273	696	1 252	1 166	908	984	1 219	1 577	2 099	2 376	13 572	-
29	31 432	4 280	652	275	690	1 225	1 183	1 014	966	1 258	1 573	2 113	2 476	13 745	12
30	30 821	3 700	623	264	544	1 098	1 101	881	858	1 195	1 643	2 034	2 372	14 491	17
31	33 387	3 455	567	269	609	1 151	1 054	935	939	1 249	1 670	2 180	2 724	16 578	7
1月	3 174	410	45	37	44	99	86	83	82	119	158	224	238	1 549	-
2	3 074	395	31	19	53	109	99	70	88	99	143	223	266	1 478	1
3	2 992	337	52	20	54	105	92	98	86	97	125	174	274	1 476	2
4	2 506	247	29	10	41	94	87	75	76	84	125	170	204	1 263	1
5	2 418	220	44	13	52	95	83	59	78	100	131	167	213	1 162	1
6	2 237	207	31	14	32	99	73	78	70	105	150	164	159	1 055	-
7	2 501	271	55	25	47	99	99	78	78	90	126	148	218	1 166	1
8	2 547	227	61	34	57	108	63	86	61	97	131	157	195	1 270	-
9	2 409	196	66	22	63	81	93	65	78	105	125	149	191	1 175	-
10	2 694	237	39	21	40	87	86	62	74	106	148	188	231	1 375	-
11	2 753	248	53	24	58	84	81	63	74	122	128	178	216	1 424	-
12	4 082	460	61	30	68	91	112	118	94	125	180	238	319	2 185	1

(注) 資料 大阪府衛生部監理課。

第 24 章
司 法 及 び 警 察

第 22 表 人 体 寄 生 虫 卵 保 有 者 数

本表は各保健所運営報告によるもので各年中の数字である。

年 次	検 査 人 員	虫 卵 保 有 者		虫 卵 の 種 別 <small>(1人で数種の虫卵を保有する場合はそれぞれ計上した)</small>		
		虫卵を認めたもの	百 分 比	蛔 虫	鞭 虫	12 指 腸 虫
昭 和 28 年	265 062	111 440	42.0	84 381	16 337	9 887
29	232 217	75 576	32.5	58 152	7 855	5 142
30	124 307	31 142	25.1	23 831	5 162	2 910
31	138 641	28 102	20.2	16 705	5 656	2 983

(注) 資料 大阪府衛生部監理課。